

道の駅オープンに向けて

VOL.10

～3つのステーション機能～

- ・回遊交流の拠点となる、地域情報発信ステーション
- ・自由な交流や経済活動が広がる地域活性のステーション
- ・まちの文化と歴史を後世に伝える過去と未来をつなぐステーション
(道の駅施設コンセプトより)

名称決定表彰式

1月5日(金)、追分庁舎で道の駅の名称決定に伴う表彰式が行われました。

式では、「あびらD51(デゴイチ)ステーション」の考案者である町内在住の大西秀貴氏に瀧町長とあびら観光協会の小林会長からお祝いの言葉がかけられ、表彰状と記念品が贈呈されました。

また、大西氏からは、名称に込めた想いや道の駅への期待についてご挨拶をいただきました。

◆大西さんのご挨拶より

・自分の住む町に道の駅が建設されるので、何か関わりたいと思ひ、名称を応募しました。

・これまで、全国各地のSLを見てきましたが、安平町のD51ほどきれいな車両を見たことはありません。保存状態は日本一、また世界一だと感じているので、ぜひとも「D51(デゴイチ)」の言葉が入った名称にしたいと考えました。

・また、道の駅のコンセプトとして3つのステーション機能が挙げられていたので、名称に「ステーション」という言葉を用いました。

・道の駅には特産品などが多く揃うと思いますが、鉄道車両や特産品を目当てに、多くの方々に安平町に来て欲しいと思っています。



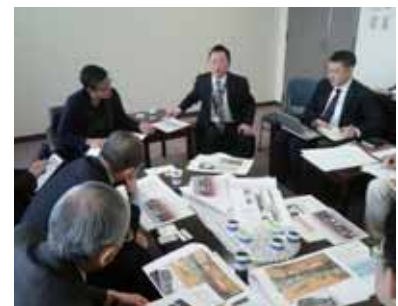
表彰式での1枚
名称が記されたボードを手に記念撮影
(左から大西氏、瀧町長、小林会長)

オープンに向けた準備業務

■屋内デザインの協議

道の駅の内部をまとまりある空間に創りあげるため、工事関係者やコンサルティング会社、役場道の駅担当者等でデザイン協議を行っています。センターハウスには、SL倉庫や休憩コーナー、テイクアウト、ベーカリー、特産品販売コーナーなど様々な機能が併設されるため、全体的なバランスの調和が重要なポイントになります。

駅舎というテーマ性を生かしながら利用者の満足度を高めるデザインの創出に向け、色彩や装飾等、細部にわたった話し合いが今後とも続きます。



屋内デザインの協議の様子

■オープンに向けたPR

現在、町では「道の駅あびらD51ステーション」のオープンを告知する専用ホームページを制作しています。このページは、建物工事の進捗状況や販売メニューの検討状況などオープンまでの動きをカウントダウンとともに伝える予定で、4月以降の公開をめざしています。

■郷土資料の保存

町では、歴史や文化を未来に向けて保存するため、町の変遷やSLの雄姿などを収めた貴重な写真や映像をデジタル化する取り組みを進めています。加工や編集を施した資料は、道の駅で展示・放映を行うほか、町ホームページでの公開が検討されています。

工事の進捗状況

SL倉庫と農産物直売所部分は、1月末までに壁面と屋根の建設まで工事が進みました。

センターハウス棟は、基礎の上に鉄骨が立ち、現在、屋根と外壁の取付工事が進められています。